# 最終処分場の施設計画について

※ 資料については、福島市、津市HPから抜粋、加筆修正。

## 1 施設計画の推移

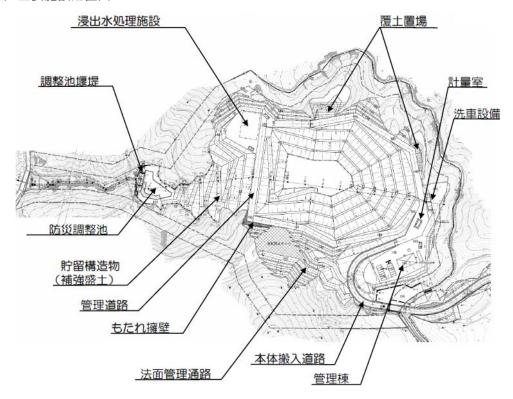
	津市	(参考)前橋市	福島市		
		新最終処分場	基本構想時点		実施設計時点
埋立容量	約 180,000m³	217, 000 m <sup>3</sup>		約 232, 000m³	約 246, 000 m³
埋立地面積		31, 000 m <sup>2</sup>		約 29,000 m²	約 19,800 m <sup>2</sup>
敷地面積	約 120,000m <sup>2</sup>	$60,000\sim70,000\mathrm{m}^2$		約70,000m <sup>2</sup>	約 86,000 m <sup>2</sup>
備考	埋立容量は供		埋立地	約 29,000 m <sup>2</sup>	
	用時点。敷地		水処理施設	約7,000m²	
	面積は公募時		防災調整池	約5,000m²	
	点。		管理棟	約 2,000m²	
			緩衝帯ほか	約 25,000 m <sup>2</sup>	

# 2 福島市最終処分場

## (1) 実施設計諸元

項目	内 容				
所在地	福島市立子山字井戸沢地内外				
	埋立地面積 約 19,800㎡				
規模	埋立容量 約246,000㎡				
	埋立期間 約15年(平成33年度~平成47年度)				
埋立対象物	一般廃棄物の焼却灰、破砕不燃及び側溝土砂※(除染作業による土砂は除く)等 ※側溝土砂は、住民がボランティアで行った側溝清掃に伴う発生土砂 (除染作業から発生したものは除く。)である。埋立処理に当たっては 地元等と十分協議を行い検討する。				
埋立形式	オープン型処分場				
埋立方法	サンドイッチ工法				
	処理能力 70㎡/日				
浸出水処理施設	調整容量 3,000㎡				
が出いた。主語は	処理方式 カルシウム除去+生物処理+凝集沈殿 +砂ろ過+活性炭吸着+滅菌				
建設年度	平成30年度~平成33年度				

#### (2) 主要施設配置図



#### (3) パース図

